

経営塾OB会 東日本Bブロック

人について ～産廃業界に、人が集まるようにするには？～



さて、なぜこのテーマを選んだかというところ・・・

こんなニュースが出るなんて、
我々はこのままでいいんですか??

MENU

 ■ 廃棄物業界の現状

 ■ 課題

 ■ 世間のニーズは？

 ■ まとめ



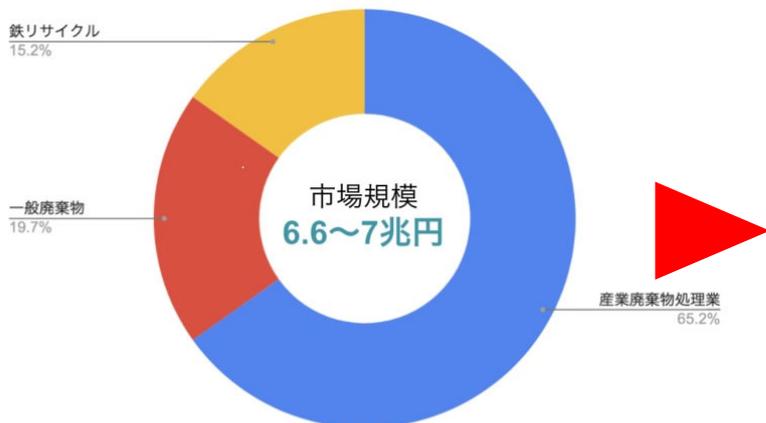
廃棄物業界の現状

- 市場規模と立ち位置
- 企業の実態
- ここ数年の話題



廃棄物業界の市場規模と立ち位置

静脈産業の市場規模



ランキング	業界	市場規模 (億円)
1	卸売	1,074,409
2	電気機器	788,670
3	金融	658,885
4	自動車	657,148
5	小売	623,573
6	総合商社	539,456
7	専門商社	471,462
8	自動車部品	345,551
9	生命保険	339,127
10	化学	312,061
31	医薬品卸	105,287
32	住宅設備	100,529
33	造船重機	93,189
34	リース	92,913
35	建設機械	89,287
36	金属製品	80,073
37	家電	78,316
38	広告	73,057
39	ドラッグストア	68,674
40	ゴム・タイヤ	65,506
41	地方銀行	64,819
42	半導体	63,405
43	OA機器	61,772
44	アパレル	60,379
45	家電量販店	60,235
46	飲食	56,315
47	玩具	55,433
48	インターネット	55,366
49	精密機器	54,134
50	ゲーム	53,252

いや、結構規模大きくない？

企業の実態

許可業者総数
約12万社

うち実際に稼働
約6万社

うち主業として稼働
約1.2万社

産廃業の平均従業員数

運搬のみ→9名 中間処理→20名

平均売上高

運搬→1.6億 中間処理→4.1億



産業廃棄物業界は市場規模が大きいものの、
中小・零細企業が非常に多い

ここ数年の話題

1 SDGsの認知状況(職業別)



課題

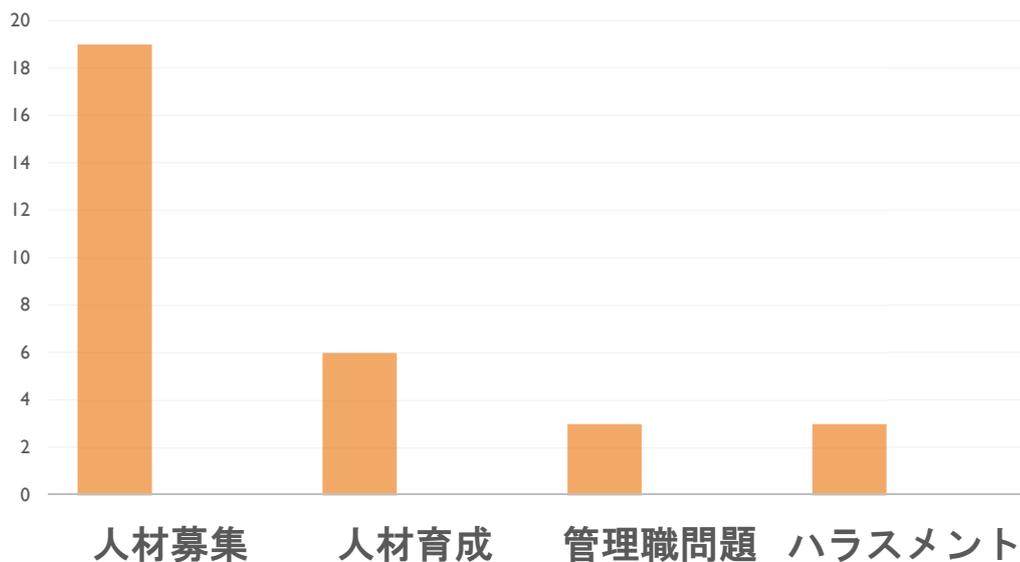
- 皆さん何に悩んでいるんだろう
- 我々の現状は？



悩みの多さ



回答数：18社19名



19件

6件

3件

3件



じゃ、我々の実情ってどうなんだっけ？

まずは
現状把握

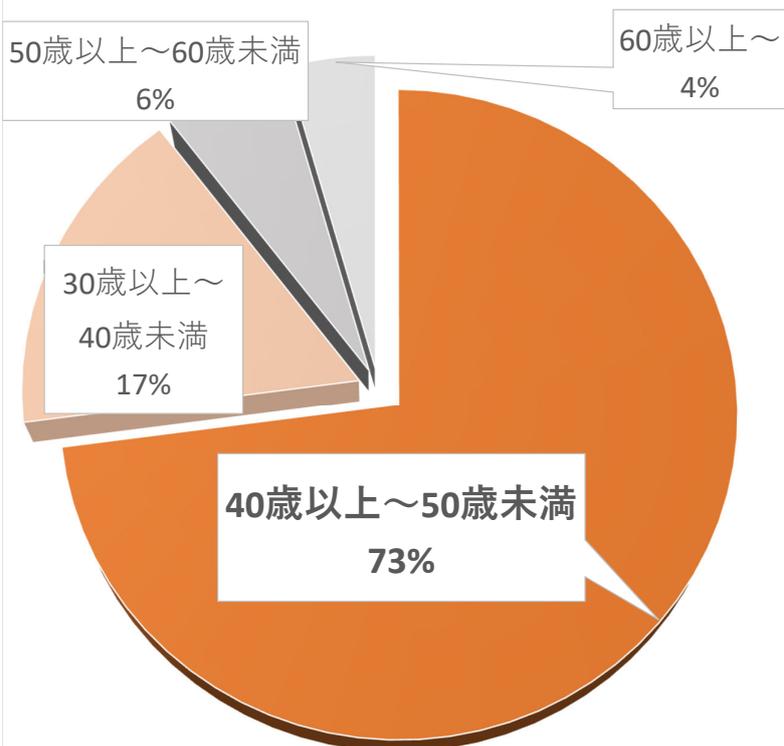
ニーズとの
乖離を把握

課題の
明確化

東日本Bブロック加盟企業へヒアリング。
下記8項目についてデータを集めました。（回答 全48社）

- ① 平均年齢
- ② 平均勤続年数
- ③ 年間休日
- ④ 土日祝日の休み
- ⑤ 休日出勤
- ⑥ 有休取得日数
- ⑦ 残業時間
- ⑧ 平均年収

あなたが勤務する会社の全社員の平均年齢はおよそ何歳ですか？

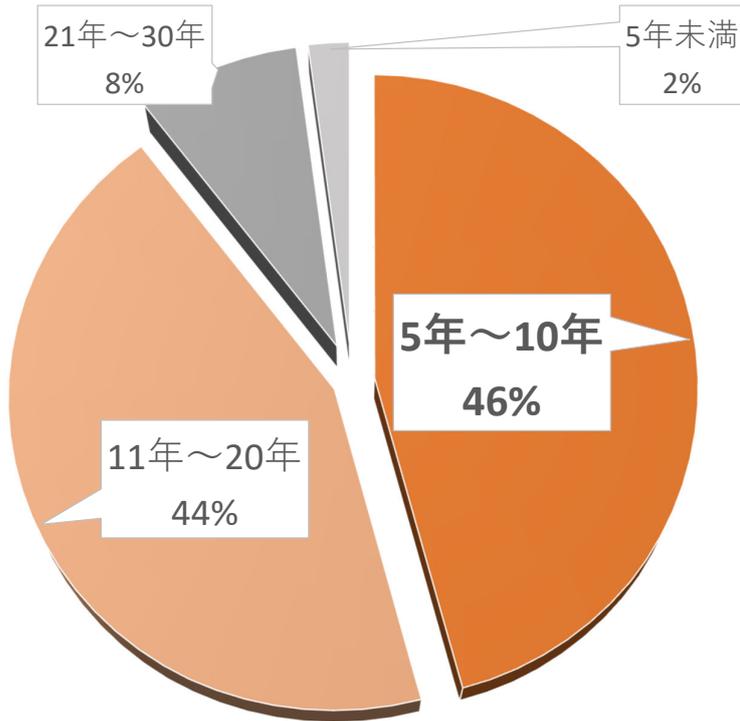


< 平均年齢 >

40～50代が7割

日本全国平均：43.2歳
(厚労省資料より)

あなたが勤務する会社の平均勤続年数は、およそ何年ですか？

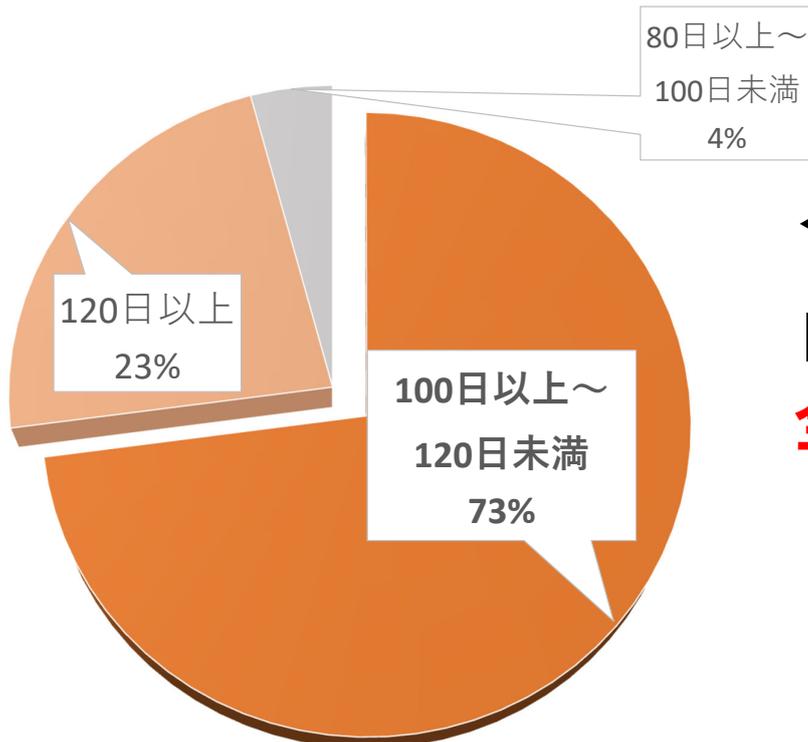


<平均勤続年数>

5年～10年と11年～20年
がほぼ同等

全国平均：12.6年
(厚労省資料より)

あなたが勤務する会社の年間休日数は、およそ何日ですか？

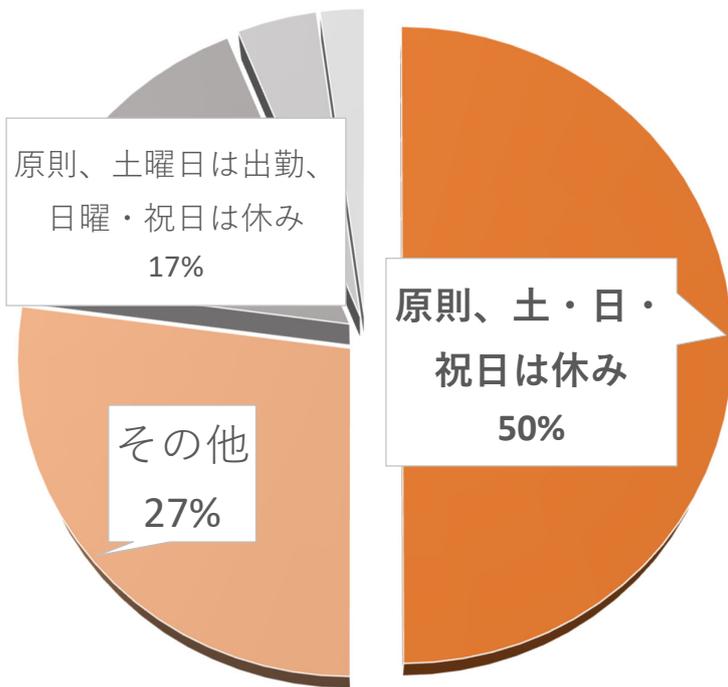


<年間休日数>

100日～120日が7割

全国平均：110.5日
(厚労省資料より)

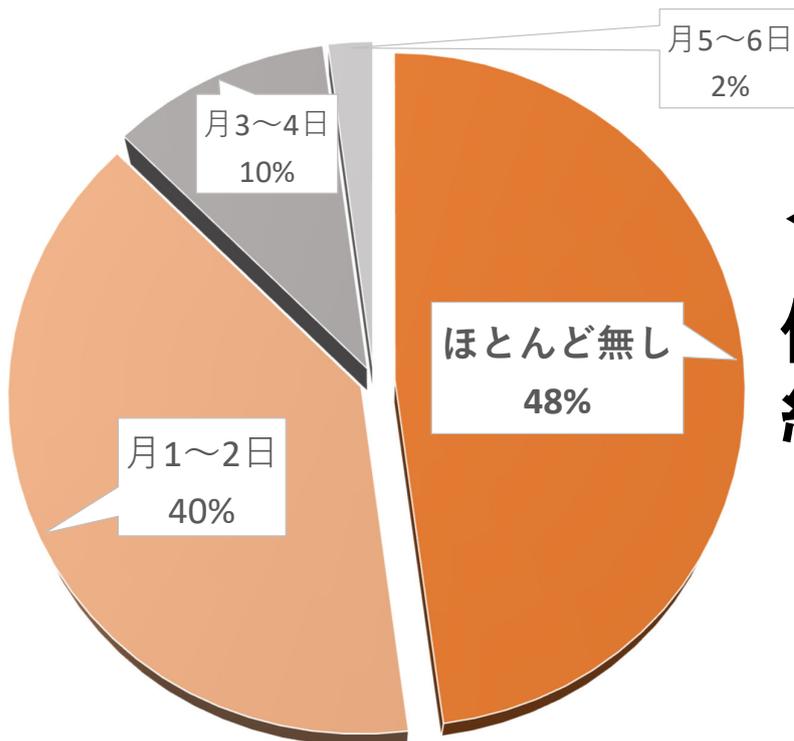
あなたが勤務する会社の土・日・祝日の出勤はどのような体制ですか？



<土日祝出勤>

原則土日祝日休みが5割
完全週休二日制は
全国平均で44.9%
(厚労省資料より)

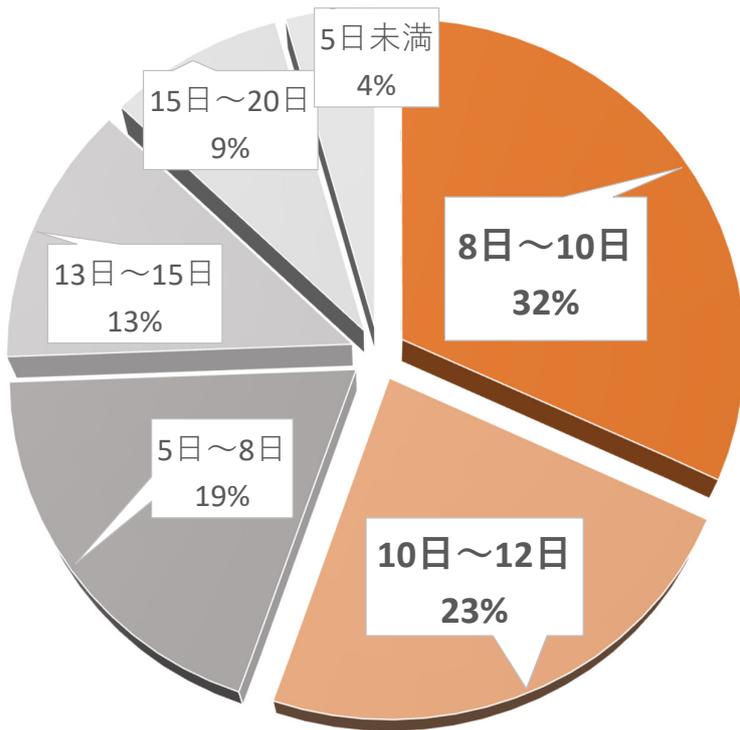
あなたが勤務する会社の休日出勤数はおよそ何日ですか？



<月の休日出勤数>

休日出勤ほぼ無しが
約5割
(平均データなし)

あなたが勤務する会社では、有給をおよそ何日取得していますか？

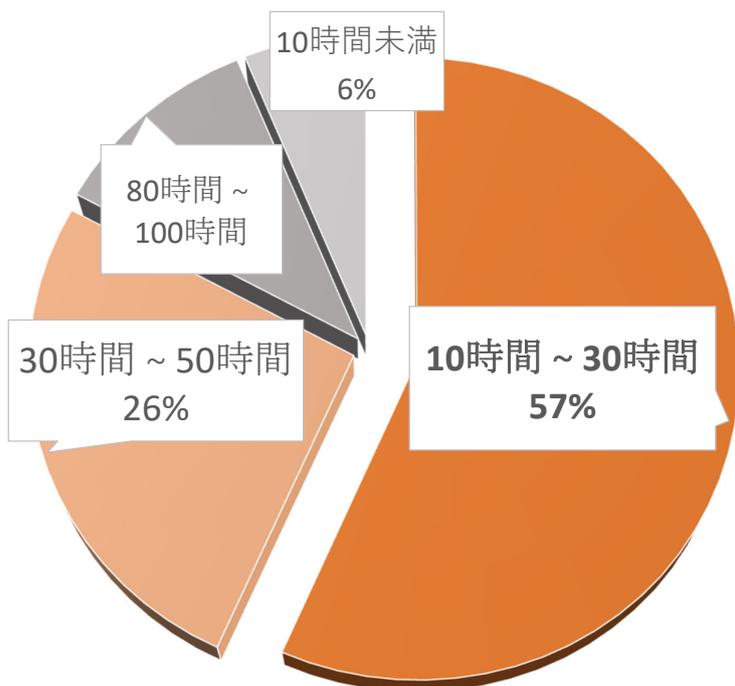


<年間有給取得日数>

8～10日が3割、
次いで10～12日が2割

全国平均：10日間
(厚労省資料より)

あなたが勤務する会社では、月に平均して何時間残業をしていますか？



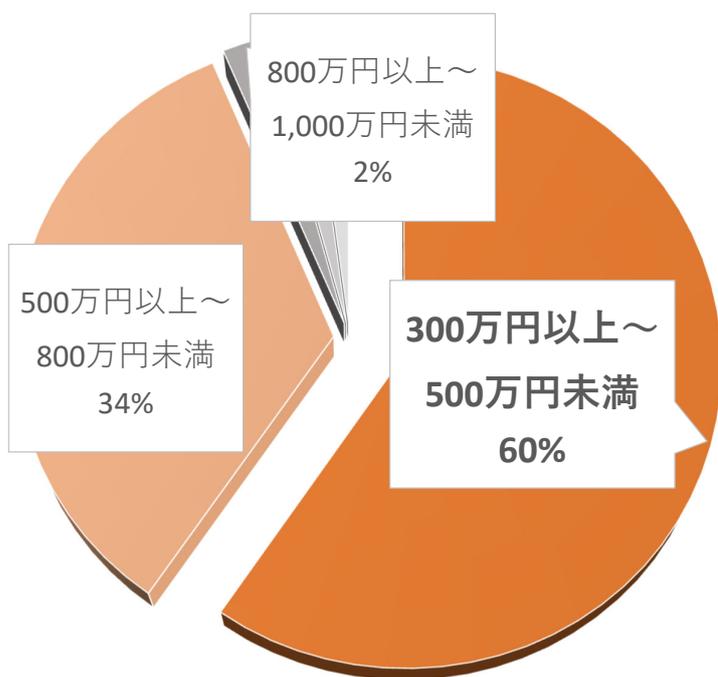
<月平均残業>

10～30時間が5割超、
次いで30～50時間

全国平均：10.5時間
(厚労省資料より)

但しクチコミサイトでは
平均25～40時間

あなたが勤務する会社の平均年収は、およそいくらですか？



<平均年収>

300～500万が6割、
500～800万が3割
全国平均は440万
男性限定だと550万
(国税庁資料より)

THE 平均値

その他、WSで出た内容

いいところ

- 「やりがい」「安定性・成長性」が魅力的な業界
- ・ SDG s など、現代社会で一番の問題に取り組むことができる
- ・ 社会に必要なインフラ業である
- ・ 廃棄物がなくなることはなく、安定しており将来性もある
- ・ 地球を守る仕事である
- ・ 幅広い分野で活躍できる

その他、WSで出た内容

改善が必要なところ

- イメージの脱却、労働状況の改善が必要
- ・ 3Kのイメージ
- ・ 廃棄物 = 悪、汚い、臭いという印象
- ・ 産廃業界 = 悪いことをしている、アウトローな人のイメージ
- ・ 非公開的、閉鎖的
- ・ 古い体質

その他、WSで出た内容

自社として必要なこと

- 待遇向上、環境整備
- ・ 高収入、福利厚生の充実
- ・ 休暇制度や給与と休日の明確化
- ・ 誰でも働きやすい職場環境の整備
- ・ 機械化や誰でもできる仕組みづくり、教育制度

その他、WSで出た内容

他業界の取り組みで、産廃業界も適用したほうがいいもの

- ・ 新卒者の積極採用、インターンシップの導入
- ・ 環境への貢献度が見える化
- ・ 女性やシニアなど多様な人材活用
- ・ 社員食堂や表彰制度などの福利厚生
- ・ ブランディング
- ・ 初期教育や社内研修の充実



市場ニーズは？

- 新卒大学生の意識は？
- 転職者の意識は？
- 生活者対象の魅力度は？



参考資料

■ 株式会社マイナビ

- ・2023年卒大学生就職意識調査
- ・転職動向調査 2022年版

■ 企業広報戦略研究所

2022年度 魅力度ブランディング調査

大学生就職意識調査より

- 就職観：「楽しく働きたい」が今年も最多で37.6%
 - ↳人のためになる仕事をしたいは13%、
プライドの持てる仕事をしたいはほぼ最下位
- 企業志向：大手企業志向は半数を割って48.5%、中堅・中小志向が47.8%
- 企業選択のポイント：「安定している」が43.9%で最多
 - ↳その中でも安定を感じるポイントとして「福利厚生が充実している」が53%
「給料のよい」、「休日、休暇の多い会社」、
「勤務制度、住宅など福利厚生の良い会社」なども増加

転職動向調査より

- 転職者が入社を決めた理由は「休日や残業時間が適正」「給与が良い」
辞退理由は「給与が低い」
- 応募にプラスに影響する施策・制度としては
「多様な雇用形態の選択が可能な制度」「企業独自の休暇制度」
「充実したキャリア育成支援・社内研修制度」が80%を超える
- 応募をためらう理由は給与が低い58.1%、休日が少ない46.5%
福利厚生が少ない36.4%、会社・事業・業界理解がしにくい21.9%、
研修制度が少ない13.1%

魅力度ブランディング調査より

- 生活者1万人が対象企業200社に対して感じた魅力を集計したところ、最も多かった魅力が「**人的魅力**」で全体の 37.3%となった。
詳細では「**ビジョンを掲げ、業界を牽引している**」(51.6%) が第1位。
ビジョンやリーダーシップなどの非財務情報が“魅力ある企業”のカギになっている。
- 「企業の魅力をどのようなところで見聞きしたか」を聞いたところ、
1位「**商品・サービスを購入して**」(27.0%)、2位「**テレビ番組**」(18.8%)、
3位「**テレビCM**」(17.3%)
- 企業に対して魅力を感じる項目を認識した後の行動については、
73.1%が何かしらのアクションを起こしている。
うち「**企業や商品のサイトを閲覧した**」、「**評判を検索サイトで調べた**」が計38%。



以上を踏まえ、
皆さんはどう思われたでしょうか？



まとめ

- 振り返り
- 今後の課題



振り返り



業界

中小が多い
が、
市場規模、
成長性など
多くの魅力



悩み

特に
「人材確保」
が多い



状況

全業種に比べ
平均的



ニーズ

個利厚工な
ど、乖離して
いる
部分が多い



アンケート結果から

人員獲得争いとなった場合、募集をかけたとしても他業種からは目立つことがない業界である。

直近の問題

例えば運転手は来年3月まで残業の規制が猶予対象だったが、次の4月からは年960Hの上限規制の対象となる。
他の業種より大幅に緩いとはいえ、一人当たりの労働時間を短くせざるを得なくなり、仕事の総量が変わらないなら今よりもドライバーの人数が必要になるという事である。

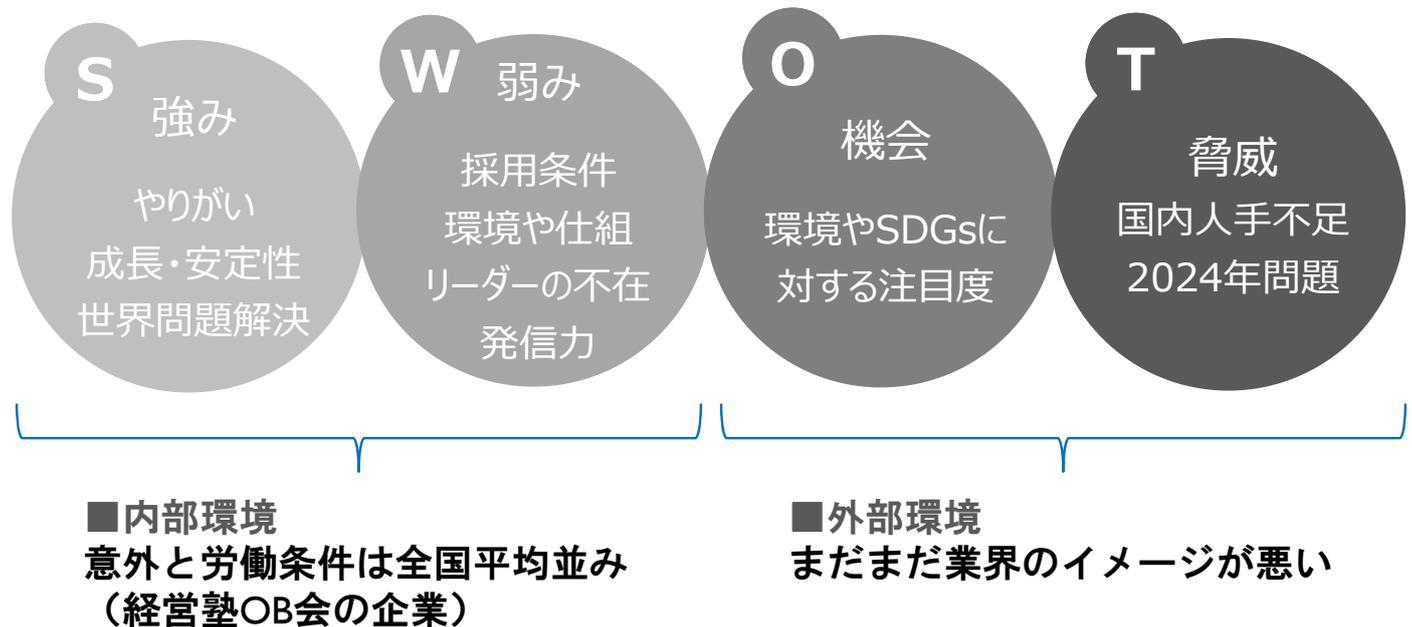
先ほどの事例をはじめ、人材の取り合いになった場合に、

ワンランク上のステージを目指す事が必要で、

他の業界からみて、廃棄物業界は給料も良くて好条件だね！とみられるような業界にしていかないと、

圧倒的に知名度が高い業界・会社に求人応募者は流れていく可能性が高いのではないのでしょうか。

「人」に関する 業界 SWOT 分析



皆さんもこの大きな問題について、
一緒に悩みませんか？

近い将来、我々の業界が
日本標準産業分類で、その他サービス業ではなく、

『環境業』として、有望な人材が集まり、
誇れる業界になることを目指して・・・

ありがとうございました！
経営塾OB会 東日本Bブロッカー一同

SPECIAL THANKS

財団の皆様（特に兼子さん）、
OB会全ブロック、参加者、関わってくれた皆様！！